

平成30年4月1日

役員会議事録

概要：3月に開催された本会主催の短期集中講座、及び、研究会『四葉研究交流会2018』の報告を行う。

審議事項：

- ・3月短期集中講座開催報告
- ・本会主催研究会『四葉研究交流会2018』開催報告

3月短期集中講座開催報告：

報告：3月16、19、20日に短期集中講座『先輩は語る』が開催された。参加者は4名であった。講座では、前回同様、本会役員、山井、弓林がスライドを用いた発表を行った。初日は山井が『微生物の世界』をタイトルに微生物、微生物の分類、微生物の性質について語った。2日目と3日目は弓林が『現代物理学入門』をタイトルに物理学史、現代宇宙論について語った。講座終了後、前回同様、生徒に簡単に意見を聞いた結果「進路に関する話を聞きたい」などの意見があった。

今回は2回目の本会主催の短期集中講座であった。前回と比べて参加者が4名と少なかった。このことは今回のタイトルと概要が学校側との関係で前回と同様の内容となってしまうことが原因であると考えられる（『先輩は語る』と内容が分からないタイトル）。より具体的で生徒の求めている内容となるように協議が必要である。

また、『進路の話』、『大学生活の話』、『研究の話』、『社会人の話』など、卒業生が話すことが出来る内容は豊富にあるが、未だ本会役員以外の発表が行われていない。このことは本会主催の短期集中講座開催を行い続ける上で課題となるだろう。

これらの点を踏まえ、発表者の募集、内容の募集など、ホームページ、Twitterなどを利用した宣伝を積極的に行っていく等、改善策が必要である。

- ・発表者の募集
- ・発表内容の募集
- ・タイトル、概要の内容の協議
- ・宣伝方法の改善

本会主催研究会『四葉研究交流会2018』開催報告：

報告：3月25日に、在校生、卒業生、そして本会役員招待の一般講演者による研究交流会『四葉研究交流会2018』が開催された。参加者は在校生発表者19名、卒業生、役員による招待

講演者からなる一般講演者11名、特別講演講師1名、聴講者12名の43名であった。

本研究会は学年、分野の壁を取り払った研究交流を目的として開催された。研究会のプログラムなど詳細は研究会ホームページ (<http://st-yotsubakai.jp/projects/ycrc2018/>) を参照のこと。以下に概要を報告する。

午前は在校生の部とし在校生によるポスター発表(6組、19名)が行われた。その後、東京都立大学理学部物理学科齋藤暁元教授による特別講演『「鶏と卵」の答えはなくていいのか?』が行われた。意識と量子力学を絡めた講演に、在校生から多くの質問が出、活発な議論が行われた。在校生の部の終わりに、本校物理科金子雅彦教諭による講評、及び、会長山井による表彰が行われた。投票の1位、2位に対し、最優秀賞、及び、優秀賞を副賞(図書カード)を添えて表彰を行った。

午後は一般の部とし卒業生及び一般講演者による口頭発表(11名)が行われた。大学一年生から社会人研究者に至る、様々な年齢、分野の人々による研究発表が行われた。一般の部の終わりに、特別講師齋藤暁先生による講評、及び、会長山井による表彰が行われた。表彰は在校生の部と同様の内容で行われた。

次に研究会終了後に行われたアンケートの結果を簡単にまとめる：

- ・ポスター発表の時間を長くしてほしい
- ・たくさんの分野の人が参加してほしい
- ・卒業生、一般講演者もポスター発表があってほしい
- ・在校生と卒業生、一般講演者の議論の時間がほしい
- ・開催は年に1~2回、時期は夏と春が良い

次回以降も開催してほしい、参加したいとの声が、在校生、一般講演者ともに多数あった。このことは本研究会が成功であったことを示している。しかし、本研究会は本会主催の初めての研究会だった為、スケジュール(募集時期、募集期間、締め切りと開催日の期間)、プログラム(各発表時間、休み時間の設定)など、まだまだ改善の余地があり、アンケートの結果なども踏まえ、次回以降の研究会開催に向けて協議していく予定である。